

# 講義科目4-9

## 神経病学モデル・コア・カリキュラム

### 全体目標

神経疾患について原因、病態生理、症状、診断法および治療法の理解に必要な知識と技術を修得する。

### (1) 神経学的検査法と診断の基本

#### 一般目標：

神経学的検査法の生理学的背景を理解するとともに、部位診断の基礎知識、技能を修得する。

#### 到達目標：

- 1) 神経学的検査法の意義とその解釈を説明できる。
- 2) 神経学的検査法をもとに、横断性脊髄病変の部位および重症度を説明できる。
- 3) 神経学的検査結果をもとに、脳病変の部位を説明できる。
- 4) 四肢の末梢神経異常を説明できる。
- 5) 排尿に関わる神経異常を説明できる。
- 6) 視覚経路、瞳孔調節系路の異常を説明できる。

### (2) 脳疾患

#### 一般目標：

代表的な脳疾患を挙げ、その原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

#### 到達目標：

- △1) 犬や猫の脳炎、てんかん、水頭症、脳腫瘍を説明できる。
- △2) 牛の海綿状脳症 (BSE)、大脳皮質壊死症 (B<sub>1</sub> 欠乏症)、熱射病、ヘモフィルス感染症 (血栓塞栓性髄膜脳脊髄炎)、アカバネ病、リステリア症を説明できる。

### (3) 脊髄疾患

#### 一般目標：

代表的な脊椎、脊髄疾患を挙げ、その原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

#### 到達目標：

- △1) 犬や猫の椎間板ヘルニア、線維軟骨性塞栓症、変性性脊髄症、髄膜炎を説明できる。
- △2) 馬、羊、山羊のウォブラー症候群、腰麻痺、破傷風を説明できる。

### (4) 末梢神経疾患

#### 一般目標：

代表的な脳神経障害と末梢神経疾患を挙げることができ、その原因、病態、診断法および治療法を説明できる。

#### 到達目標：

- △1) 顔面神経麻痺、末梢性前庭障害、三叉神経麻痺、末梢神経損傷を説明できる。